

新型コロナウイルス感染症対策と社会活動についての基本的な考え

■趣旨

本県における新型コロナウイルス感染症対策，殊に社会活動の制限を最小限にしつつ，疾病のまん延を最大限防止するための対応について，専門家の意見を伺い基本的な考えを示す。

1 現状分析

県内では，散発的な患者の発生があるが，サーベイランスや疫学調査が確実に実施されており，継続的な感染の連鎖や集団感染（クラスター）が発生しているがい然性が低い状況

2 基本的な考え

長期に及ぶ活動自粛による影響に照らして，活動を通じて地域で感染が広がるリスクが相対的に十分小さいと考えられる以下のような活動については，参加者が※に掲げる要件を守ることを前提に，実施することを妨げない。

- ◆ 参加者が特定される地域活動：コミュニティでの会合や会食 など
- ◆ 他者との会話や接触が想定されない活動：図書館での学習，美術鑑賞 など
- ◆ オープンスペースでの活動：景勝地の観光，公園でのスポーツ，アウトドアアクティビティ など
- ◆ 学校における教育活動：課外・部活動（3/23～），始業式・入学式（卒業式に準じる）

※ 感染症のまん延を防止するための取組や日常生活・活動で配慮すること

【社会全体】

- 全国からの来県者が想定される大規模イベントについては，中止，延期，規模縮小等の対応を行う。
- 密閉空間で換気が悪い，近距離での会話や接触がある，手の届く距離に多くの人がいるような場所での集会等は開催しない。

【個人】

- 咳エチケット，こまめな手洗いなど現状行っている衛生対策を徹底すること。
- 熱や咳などの症状のある方，体調の悪い方は活動を控えること。
- 高齢者，基礎疾患のある方の活動については，参加の必要性について十分に検討すること。
- 高齢者施設の従事者等，高齢者等と日常的に接する者にあつては，自らの活動に十分注意すること。

3 今後の対応

状況の変化により，専門家の意見を踏まえ必要な見直しをする。